

末期症状？窮地の岸田政権



内閣支持率 軒並み20%台

岸田文雄首相の政権運営が袋小路に陥っている。報道各社の世論調査で内閣支持率は軒並み20%台を記録。減税を盛り込んだ経済対策も低評価で、政権浮揚の切り札との期待は裏目に出て。与党内では「末期的」との悲観が上がる。首相は2023年度補正予算案の早期成立で再起を狙うが、自民党的派閥に「政治力不足」問題が浮上。新たな火種となりそうだ。

■ 悪者

「減税」「選挙日遅延」「どう悪者イメージを振り込まれてしまった」

20日朝、官邸。首相周辺は各社調査と目を通すと大を仰いだ。特に痛いのは経済対策に関する結果だ。30年続いた「かねてから完全脱却するための『超幾年』」として自信を持っていたのだが、各社とも「評価しない」が

「評価する」を大きく上回った。意図が伝わらないものかしきが官邸に響く。午後の衆院本会議では、立憲民主党的鎌田ひづり氏が、減税の元手はないと説明した鈴木俊一財務相と、「税収増を還元する」とした首相の発言に齟齬があると回った。首相は「国民か

ら見れば、新型コロナウイルス禍に納めた税金が戻つたのだ」と皮肉したが、明快さを失いた。

官邸筋は「来年の春闘で賃上げが実現するまで耐えが50%を割れば政権は持たないではない。誰がいつ『ボスト岸田』レースの号砲を鳴らすか」とささやく。首相に近い政権幹部は「一喜一憂するか、一喜である要素すらない」と頭を抱えた。



期間	内閣		支持する		
	支持	不支持	評価する	評価しない	
3~5日	28.3% (-4.0)	56.7% (+4.2)	32.0%	62.5%	
毎日	21 (-4)	74 (+6)	22	66	
朝日	18~19 18~19 17~19	25 (-4) 24 (-10)	65 (+5) 62 (+13)	28 23	68 66
読売	11~12	27.8 (-7.8)	68.8 (+9.2)	27.2	66.6
NHK	10~12	29 (-7)	52 (+8)	36	59

※() 内は前回調査比のポイント差。経済対策に関する設問は各社でやや異なる。NHKの「評価する」は「大いに」「ある程度」「評価しない」は「あまり」「まったく」の合計

減税裏目、「政治とカネ」問題も

自民筋は「政権を持つたないではない。誰がいつ『ボスト岸田』レースの号砲を鳴らすか」とささやく。首相に近い政権幹部は「一喜一憂するか、一喜である要素すらない」と頭を抱えた。

■ 不安

弱った政権にとって、新たな不安の芽は、首相率いる岸田派を中心とする派閥の政治資金問題だ。政治資金バーティーの収入を18~21年分の政治資金収支報告書に約4千万円分過少記載したとする告発状を受け、東京地検特捜部が派閥担当者が在籍取扱したことが判明した。

20日朝、記者団から対応を問われた首相は、捜査中を理由に「コメントは控える」とだけ語った。茂木派幹部は過少申告はない、麻生派中堅は「すでに修正済み」とし、今のところ捜査を見守る機会だ。

一方、安住氏は、自民の高木義樹対策委員長との会談で「予算委員会で聞かせてもらひ」と宣誓。追及へ手

では、「参謀のゾン」と呼ばれた故青木幹雄元参院議員会長が唱えた「方程式」、一方、今月調査で岸田内閣は支持率28.3%。自民の12年政権運営後最低で、不支持率56.7%も際立つ。

■ 方程式

窮地の首相を巡り、自民では、「参謀のゾン」と呼ぶ心を失った菅義偉前相は退陣の道を選んだ。一方、今月調査で岸田内閣は支持率は31.8%に低下し、不支持率は50.6%。共通通信調査で、菅内閣の支持率は31.8%に低下し、不支持率は50.6%。

一方、安住氏は、自民の高木義樹対策委員長との会談で「予算委員会で聞かせてもらひ」と宣誓。追及へ手

では、「参謀のゾン」と呼ばれた故青木幹雄元参院議員会長が唱えた「方程式」、一方、今月調査で岸田内閣は支持率28.3%。自民の12年政権運営後最低で、不支持率56.7%も際立つ。